

農業委員決まる 会長には村中清氏

新しい農業委員27人が決まりました。農業委員は選挙で選ばれるもの20人と市議会の推薦によるもの5人、農協の推薦によるもの2人の合計27人からなり、任期は3年です。

7月1日に開かれた組織委員会で、会長には村中清さん(稲郷・72歳)が、会長職務代理者には石塚重夫さん(中挟2・54歳)がそれぞれ選ばれました。

農業委員会は合議体で、農業・農業者の利益代表機関としての性格を持ち、農地の権利移動や転用などの許可のほか農地の利用についてのあっせんや調整もします。

委員は次のとおりです。敬称略。()内は住所と選出区分。

■大野地区

- ▷奥村 浩 (明倫町・選挙)
- ▷田中新一郎 (美里町・議会推薦)

■下庄地区

- ▷村元 賢二 (西市・選挙)
- ▷朝日 利男 (西大月・選挙)
- ▷松田 政治 (南新在家・選挙)
- ▷石塚 重夫 (中挟2・選挙)

■乾側地区

- ▷小西 泰雄 (牛ヶ原・選挙)
- ▷谷口 彰三 (犬山・議会推薦)

■小山地区

- ▷大谷 忠一 (上舌・選挙)
- ▷佐々木四郎 (阿難祖地頭方・農協推薦)

- ▷木下 善弘 (飯降・選挙)

■上庄地区

- ▷下島 薫 (木本・選挙)
- ▷山田 輝治 (五条方・選挙)
- ▷村中 清 (稲郷・選挙)
- ▷松山 周三 (御給・選挙)
- ▷桑原 秋夫 (中据・農協推薦)
- ▷高橋 誠一 (下据・議会推薦)
- ▷江端 静 (西据・選挙)

■富田地区

- ▷広瀬 清 (蔵生・選挙)
- ▷岸本 輝男 (土打・選挙)
- ▷梶田 諭 (新田・選挙)
- ▷松本 一男 (土布子・議会推薦)
- ▷岩見 俊一 (塚原・選挙)

■阪谷地区

- ▷山村 宇市 (柿ヶ嶋・選挙)
- ▷前川 辰蔵 (石谷・選挙)
- ▷岡出 善雄 (南六呂師・選挙)

■五箇地区

- ▷林 信治 (西勝原・議会推薦)

親子サマーキャンプ

期 日 7月30日(土)・31日(日)
場 所 県立奥越青少年の森
対 象 親・子(小3以上)30組
負担金 1人 1,700円
交 通 自家用車以外の人はマイクロバスで送迎。越前大野駅前正午発、翌日駅前午後2時30分着。
締め切り 7月23日(土)
申し込み 青少年の森へ直接電話(67-1321)で。

“広域行政バス”で 奥越・親子ふれあいの旅

大野・勝山地区広域行政事務組合では「広域行政バス・親子号」の参加者を募集しています。今回は2つのコースを用意しました。

【期日】 8月21日(日)※雨天実施

【日程】 ▷Aコース…大野市役所午前8時20分集合～中宮平泉寺～越前大仏門前町～宝慶寺～前坂家族旅行村(昼食)～九頭竜ダム地下発電所～大野市役所午後4時10分帰着

▷Bコース…大野市役所午前8時40分集合～宝慶寺～九頭竜ダム地下発電所～前坂家族旅行村(昼食)～中竜鉦山～御清水～大野市役所午後3時50分帰着

【対象】 小・中学生とその保護者

【定員】 各コース85人

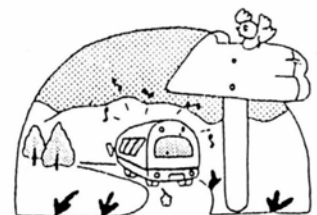
【費用】 1人200円(保険料など)

【持物】 昼食・飲み物・水着など

【申込】 8月10日(水)までに、はがきに住所・氏名・生年月日・

電話番号・希望コースを書いて〒912 大野市天神町1-1 大野市役所内 大野・勝山地区広域行政事務組合あて郵送。

定員以上の申し込みがあった場合には、抽選となります。ご了承ください。お問い合わせも同事務組合(☎66-1111内線291)へ。



まちづくりと活性化へ 今、何をなすべきか まちづくりシンポ'88から

「奥越のまちづくりと地域活性化」をテーマに、6月18日、市農協会館で「まちづくりシンポジウムFUKUI'88」（福井県・大野市主催）が開かれ、市民など約300人が参加しました。大阪産業大学教授今野修平氏の「奥越のまちづくり」と題する基調講演のあと、福井新聞論説委員長小林巖氏をコーディネーターに、パネルディスカッションが行われ、それぞれ立場の違う5人のパネラーがまちづくりについて提言し、講師の今野氏も助言者として加わりました。提言を要約してご紹介します。

町中観光も考え
中心部の整備を



福井大学教授
玉置 伸悟氏

都市計画は、昔は殿様の仕事でした。軍事や権威のために「まち」がつくられました。大野は戦災からも免れ、昔からの街が引き継がれてきました。しかし現在は①車社会に対応できる街への変ぼうと②市街地中心部の人口が減り高齢化していることから、まちなか観光を考え併せた中心部の整備が課題となっています。

人口4万人以下の都市は、人口が減り続けています。つまり自立できなくなっている証拠です。大野市もこのままいけば、3万8,000人くらいまで減るでしょう。

産業のあるところには、若い人や頭脳が集まります。そうすれば文化も芽生えます。文化だけのまちはありません。当面若い人が誇りうるまちづくり、よそから観光客が来るようなまちづくりに取り組む必要があります。

歴史を土台に
観光都市を構築



郷土歴史家
坂田 玉子氏

金森長近公は、城下へ人を集めるため、南北に走る道路に水路を設け水を引きました。そして大鋸町とか大工町、桶屋町といった町名で職人が製造しながら売っているまちづくりをしていきました。

土井利忠公の時代には、全国に大野屋という藩店を30数店も設けたり、帆船大野丸を建造して北方の開拓や北海道と交易し、広く経済活動を盛んにしました。

そんな時代もあったのに、今はほんとに情けない。これをよみがえらせるのにどうしたらよいか。これが今の大野の課題です。今の人に進取の気性を培ってもらうために、「大野の昔」を勉強してほしい。知ってほしい。

大野で最初に都市計画をした長近公は、高山へ移られました。今高山市は立派に観光で生きています。

地盤沈下から
まちを救うには



大野盆地は コーディネーター
早くから開け 福井新聞論説委員長
長近公の都市 小林 巖氏
計画や幕末の

大野藩の活躍は、よく知られています。しかし今日、いろいろな意味で地盤沈下が言われ、まちの見直しが迫られています。今日はそれぞれ立場の違う方々から今後の大野のまちづくりについて伺います。

保存と開発で
商店街の復興を



商工会議所副会頭
黒原 孝雄氏

大野の商店街には、市街中心部にあるものと周辺農村部へ通じる道路沿いにあるものがありますが、市街地を囲む環状線ができて中心部への進入路が変わった今、昔の進入路にあった商店街は、その使命を終えました。市全体で昭和54年に980店あった商店も、現在では880店ほどに減っています。

市街地中心部の人口も減る一方ですから、ここに立地する商店のためには、環状線から直接市街地へ入れる道路がぜひ必要です。それから、六呂師に一大保養地ができたとしても、客が楽しく買い物や観劇に下りて来れる街が必要です。市街地は保存する部分と再開発する部分とに分けて考えなければと思います。七間などは昔の町屋を復元するとよい。ひとつの商店街は運命共同体という考えで進まねばもう生きていけません。

官民協力して
経済基盤を確立



観光協会副会長
佐藤 要氏

まちづくりのためには、何といっても地元経済基盤の整備がポイント。工業でも商業でも人や金を持ち出すのではダメ。市外から持ち込ませることが必要です。しかし、気象条件をはじめ立地条件が悪いんだから、いい条件を示さねばなりません。工場用地だって、進出の話があってから土地交渉に入るようでは遅い、団地を先に作っておかねば。それから、他に頼る前に郷土愛に基づく地元人による産業の確立が必要。それぞれが持ち場や立場に応じた種をまいておくべきです。現在のように加工賃収入に依存するのではなく、高付加価値産業の育成が必要で、そのためには若人や頭脳の流出を防ぎ、OBを呼び戻すなど、企業も行政も先行投資する必要があります。官は民を、民は官を互いに批判し合っている暇はありません。

住みよいまちは
住民自らの手で



大野建築アトリエ
大野 勝彦氏

今大野市が進めているホープ計画は、質のよい住宅を建ててその集まりであるよい街をつくろうという計画です。大野は100年前にはいいまちでした。現代に合ういいまちに作り替えなければならぬわけですが、これがホープ計画です。これから後100年くらい使えるまちに変えていくわけです。21世紀までもう11年しかないぞという意気込みで取り組んでほしいと思います。

住宅は自分の意思で造ったり、変えたりできます。いい家を見れば、私もやってみようという人が必ず出てきます。まず自分の家から、自分の店から変えていくことを提案します。御清水も話が出てから3年もかかりましたが、これが他にも波及していくことを期待しているのです。まず自らが何かやってみていただきたいのです。

現状をわきまえ
効率的な投資を



助言者
今野 修平氏

世界中の都市がモータリゼーションの発展で悩んでいます。自動車のない生活は考えられないけれど、街の中まで乗り入れると中心街が成り立たないというジレンマに落ち入っているのです。

一方、大野市の中心商店街を活性化することを考えた場合、道路さえ作れば、あるいは広げれば解決する問題ではなく、それぞれの商店が個性と意欲を持って、まちづくりに取り組まねばなりません。商店街の役割も中心街と周辺部では違います。

それから生活環境の整備より、まず生産環境の整備に投資しなければ経済の地盤沈下は免れません。目先の快適性だけを追って生活環境整備に投資しても、この金は再生産されず、維持経費がかさむ一方です。大野、勝山を一体に考えて抜本的な改革を。

シンポジウム基調講演

これからのリゾートは都市整備

大阪産業大学教授 今野 修平氏

昭和55年以降、東京と地方との格差は広がる一方で、福井県の実家ともいべき関西経済圏ですら地盤沈下しています。

大野・勝山の主産業であった繊維工業は衰え、今やその代替え役を早急に求めなければならぬときに追い込まれています。それも脱工業化、2次産業から3次産業へという方向で、サー

ビス産業をまちづくりにどう反映させるかが、発展への鍵です。

人々の欲求は量から質へと変わっています。それから自由時間が増え、物から心、心の豊かさを求める時代になりました。地方都市は“質・自由時間・心”を生かすことで望みが持てます。これを逃しては活性化も生きる道もありません。三大都市圏の人は何を求めて

いるのか。その情報を早く、的確につかむことが必要です。盆地の外に目を向けることが第一です。情報はあふれています。見る力、選ぶ力がなければ、川の水のように流れ去るだけ。

リゾート＝都市整備という認識が必要です。これまでのように自然景観や、歴史にだけ頼っていてもダメ。観光地づくりから都市づくり、つまり楽しく買物や散歩ができ、安心して住める町をつくり出すこと、自らの個性を主張する都市づくりこそ必要なのです。



市歴史民俗資料館で 特別展「土井家」開催

市歴史民俗資料館で、大野藩主土井家ゆかりの品々を一堂に集めた特別展が開かれます。今回展示されるのは歴代藩主の生活用品・武具・書画など100点ほどで、紺色のビロードで外装したかご(乗物)など初めて公開されるものもあります。

土井家は、天和2年(1682年)の入封以来廃藩置県まで189年間にわたって大野藩を統治し、今日の大野市の基礎を築きました。

期間 7月30日～8月28日(ただし、8月1・8・17・22日は休館)

時間▷平日…午前9時～午後4時▷日曜…午前9時～午後5時

入館料▷個人…大人100円、中学生以下50円▷団体(30人以

上)…大人50円、中学生以下30円

特別展実施に伴い、7月22日(金)～29日(金)は準備休館となります。

図書館の雑誌を 差し上げます

市図書館では、昨年中閲覧された雑誌(月刊誌・週刊誌など約60種類、700冊余り)を希望者に無料で差し上げます。

期間は7月22日(金)～24日(日)で、いずれも午前10時～午後6時まで。22日は主に週刊誌、23日は婦人雑誌、24日は趣味などの月刊誌を入口ホールに用意しますので、ご自由にお持ち帰りください。

やまびこコンサート 詩と曲を募集します

障害をもつ人たちの思いをみんなの心に響かせたい——そんな願いを込めた「やまびこコンサート」が来年6月に開かれる予定ですが同コンサート実行委員会(広瀬敏一委員長)では、当日歌う詩・曲を次のとおり募集しています。

応募資格 市内に在住または勤めている障害者

テーマ 自由(点字・テープによる応募もできます)。ただし、未発表のものとしします。

応募点数 1人2点程度

締め切り 8月31日(水)

応募先 〒912 大野市天神町1-1 大野市社会福祉協議会内・やまびこコンサート実行委員会(☎66-1111内線482)へ。お問い合わせも。

またコンサート実行委員(現在22人)も募集しています。歌が好きな人ならどなたでも結構です。上記実行委員会へご連絡ください。

「県政バス」参加者募集

奥越地区の県民を対象に「県政バス教室」が開かれます。日程などは次のとおりで、雨天実施です。

親子号

〈日 時〉 7月26日(火)午前8時30分に越前大野駅前出発

〈コース〉 大野駅前～漆器会館～和紙の里～越前の里郷土資料館～刃物工業団地～大野駅午後5時10分着

〈対象者〉 小学生以上の子供とその保護者。定員55人。

〈費用〉 1人550円(紙すき実習費など)

笠井さん・森永さんが 大会新記録



6月19日(日)、梅雨空も晴れて市民グラウンドでは第31回市民総合体育大会の陸上競技会が開かれました。200m競走では、笠井清孝さん(上庄・22歳)が24秒2走り高跳びでは、森永浩次さん(大野・18歳)が1m85のいずれも大会記録で優勝しました。

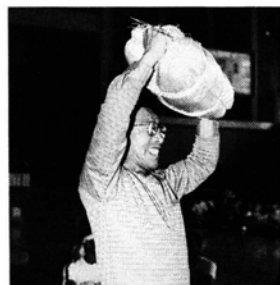
多田清氏も出席し 新有終会館起工式

新有終会館(仮称)の起工式が6月27日(月)、現会館の駐車場で行われました。山内市長、相互不動産社長多田清氏、工事関係者ら50人が出席し、工事期間中の無事を祈りました。



起工を祝って乾杯

20キの砂袋で 重量挙げ



市福祉スポーツ大会が、6月26日(日)有終南小体育館で開かれました。毎年人気のある「重量挙げ」には各チームの力自慢9人が勢ぞろい、約20キの砂袋を47回持ち挙げた松田哲二さん(視力障害者協会・55歳)がチャンピオンになりました。

〈持ち物〉 昼食・水筒・筆記用具

日曜号

〈日 時〉 8月7日(日)午前8時
40分に越前大野駅前出発

〈コース〉 大野駅前～刃物工業
団地～陶芸館・樹香苑～大
野駅午後5時着

〈対象者〉 一般(小学生以上の
子供同伴可) 定員55人

〈費用〉 1人1,000円(陶芸実
習費)

〈持ち物〉 昼食・水筒・筆記用具
参加ご希望の方は、往復はがき
に住所・氏名・年齢・電話番号・
出発日・出発地を書いて、〒910
福井市大手3丁目17-1 県庁広
報課県民相談室へ。

16歳以上 映写機の 操作技術認定講習会

日 時 7月29日(金)・30日(土)午前
10時～午後4時

会 場 市図書館内・視聴覚ライ
ブラリー(☎65-5500)

対 象 高校生以上の市民

受講料 600円(テキスト・認定料)

各公民館に申込書がありますの
で、7月22日(金)までに視聴覚ライ
ブラリーまたは最寄りの公民館へ
申し込んでください。

童心に返って 童謡を楽しむ

「童謡の流れるまち大野」を愛
する会が発足して4ヵ月。会員
たちは、まず自分らが歌おうと
月1回の例会には童心に返って
童謡を楽しんでいます。次回は
8月20日夜7時から大野公民館で。



～シャボン玉飛んだ～

訴えや調停関係の 手続き書類が簡便に

大野簡易裁判所では、金銭や土
地・建物をめぐるもめごとで、訴
えや調停を申し立てる際の手続き
を簡便にするため、定型の用紙を
備え付けました。

定型用紙では、原告(申し立て
る側)、被告(申し立てられる側)の
住所・氏名をはじめ、もめごとの
種類によって、例えば金銭貸借の
年月日・金額・利率、あるいは対
象物件の所在地などを順次空欄に
記入していけば自然にできあがる
ようになっています。

定型用紙には記入説明書も付い
ていますから、法律用語に不慣れ
な人でも自分で訴状や調停申立書
が作成できます。

詳しくは大野簡易裁判所(☎66
-2120)へお問い合わせください。

九頭竜ワークショップ ふれあい夏まつり開催

日 時 8月7日(日)午後2時～9時

会 場 九頭竜身障者ワークショ
ップ(勝山市平泉寺町)

内 容 ▷模擬店▷アトラクショ

ン▷盆踊り▷火の祭典など
当日はJR越前大野駅前～ワー
クショップ間で送迎バスが運行さ
れます。ご利用ください。

行 き ①午後1時30分②午後2
時30分③午後5時

帰 り ①午後4時30分②午後9
時30分

視力障害者大会の ボランティア募集

8月7日(日)午前9時から市民会
館で開かれる県視力障害者福祉大
会で、参加者の案内・誘導など手
助けをするボランティアを募集し
ています。

あなたも1日お手伝いしていた
だけませんか。

ご連絡・お問い合わせは、市社会
福祉協議会ボランティアセンター
(☎66-1111内線481)へどうぞ。

市内の交通事故状況

件数内訳	63年 6月末	62年 6月末	増減	
総件数	189	160	+29	
人身事故	件数	83	75	+8
	死者	5	4	+1
	傷者	102	96	+6
物損事故	106	85	+21	

8月11日・12日に 水環境保全シンポジウム開催

第4回全国水環境保全シンポ
ジウムが8月11日(木)・12日(金)大
野市民会館で開催されます。

シンポジウムに参加を希望す
る人は、所定の申込書(全戸配
布の案内チラシに付いています)
に必要事項を記入の上、7月20
日(木)までに市役所生活環境課ま
たは最寄りの公民館へお申し込
みください。入場整理券をお渡
しします。

日程は次のとおりです。

【11日】▷受付(8:30～9:00)

▷式典(9:00～10:00)▷竹
内均氏の記念講演(10:00
～11:40)▷環境庁基調講演
(13:00～13:30)▷有識者
討論会『水環境の保全と住
民活動』(13:50～15:50)

【12日】▷公開討論会『くらし
と水環境』(9:30～11:30)

11日は入場整理券が必要ですが、12日は整理券がなくても入
場できます。

市民カレンダー

7月25日～8月9日

25(月)	成人病健康診査	9.00～10.30	平沢開発センター			
26(火)	一般健康相談	13.00～14.30	保健所			
27(水)	交通事故相談 結婚相談 精神相談	10.00～15.00 10.00～15.00 13.00～14.30	市役所 大野公民館 保健所	行政相談 成人病健康診査	13.00～16.00 13.30～15.00	図書館 森目小学校
28(木)	心配ごと相談 法律相談 妊婦セミナー	9.00～12.00 10.00～15.00 13.00～16.00	市役所 市役所 保健所	初級手話講習会 断酒会	18.30～20.30 19.00～21.00	市役所 下庄公民館
29(金)	母子健康相談	13.00～14.30	保健所			
30(土)	特別展「土井家」 市民大学講座	9.00～16.00 14.00～16.00	歴史民俗資料館 図書館	サマーキャンプ (～8月28日まで)	13.30～ (～31日まで)	奥越青少年の森 (～31日まで)
31(日)	ガソリンスタンド当番 カワイ春日・酒井中荒井・松田月美					
1(月)	観光週間 水の週間	健康相談 食品衛生相談所	10.00～15.00 10.00～16.00	保健センター リブレ3F		
2(火)		成人病健康診査	9.00～10.30 13.30～15.00	保健センター 上五条方公民館		
3(水)		結婚相談 行政相談 成人病健康診査	10.00～15.00 13.00～16.00 13.00～15.00	大野公民館 図書館 中西出生改センター		
4(木)		心配ごと相談 婦人悩みごと相談 成人病健康診査	9.00～12.00 13.00～15.00 13.30～15.00	市役所 市役所 中掘生改センター	初級手話講習会	18.30～20.30 市役所
5(金)		高齢者職業相談	13.00～16.00	大野公民館		
6(土)	広島原爆 記念日	越美北線利用イベント 市民大学講座	9.00～ 14.00～16.00	越前大野駅発 図書館		
7(日)	立鼻の秋 の日	ガソリンスタンド当番 酒井春日・大油屋新町・カワイバイパス 県政バス教室	8.40～	越前大野駅発		
8(月)		経営相談(商業) 税務相談 越前おおのおどり	13.00～16.00 13.00～16.00 19.30～	商工会議所 商工会議所 越前大野駅前		
9(火)	長崎原爆 記念日	交通事故相談 人権悩みごと相談 越前おおのおどり	10.00～15.00 13.30～16.00 19.30～	市役所 富田公民館 五番商店街		

食中毒にご用心!

8月1日～7日は「食品衛生週間」。夏の暑さで食品は傷みがちです。その上、体も疲れ気味ですから、食中毒になりやすい時期です。食中毒を防ぐため、食品やその取り扱い(保存・調理)には十分に注意しましょう。

健康づくり市民のつどい

日時 7月24日(日)午前10時～午後5時
会場 リブレ
内容 ▷健康相談(肥満度・視力・血圧測定など)▷体力テスト▷健康食品の試食・栄養相談▷展示コーナーなど

“青い空 ゆったり走ろう 奥越路、 21日から夏の交通安全市民運動

夏の交通安全市民運動が7月21日から1カ月間、“青い空 ゆったり走ろう奥越路、を合言葉に繰り広げられます。

夏場は暑さによる疲労や、夏休みで開放的になった子供たちの気の緩みなどから、交通事故

の多発が予想されます。日ごろから①歩行者・自転車利用者(特に子供と高齢者)の交通事故防止②暴走・飲酒・過労運転の防止③正しい方法によるシートベルト・ヘルメット着用を心掛けましょう。

今年上半期(1月～6月)に市内

で起きた交通事故は189件。うち人身事故は83件で、死者5人、負傷者102人となっており、昨年同期を上回っています。悲惨な事故にぜひとも歯止めを。

